

喜界町



議会だより

161号

平成27年10月20日発行

発行／喜界町議会 編集／議会広報編集委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用



喜界高校体育祭



喜界中体育大会

主
な
内
容

次期選挙より議員定数14名から12名…………… 2

常任委員会報告…………… 5

一般質問に3名が登壇…………… 8

諸般の報告…………… 11

読者の声・編集後記…………… 12

議員定数等に関する特別委員会委員長報告

委員長 青山 春男

次期選挙より
議員定数十四名から十二名

当委員会は議員定数と議会中継への取り組みという二つの議題について議長を除く十二名の委員で、六月十七日の第一回委員会から九月十日の第三回委員会まで計三回の委員会を開催いたしました。

まず、議員定数については、平成二十四年九月議会において議決された議員定数削減に関する決議のもとに、調査・研究にあたっては、地域性、人口規模、面積等近隣町村の実情等、また、県内の状況等を踏まえ、協議を重ねてまいりました。多様化する住民ニーズ、地方創生へ向けた取り組み等、課題が山積する中、削減により町民の意思の反映やきめ細かい監視機能が低下するのではといった懸念もありましたが、常に行財政改革について向き合うことが議会の責務であり、地域の議員から全町的な議員へとという考えの元に、次回の選挙より喜界町議会議員の定数を十四名から二名削減し、十二名とすることを全会一致で決定しました。

次に議会中継については、本委員会では議員定数と同様に「開かれた議会」についても議論を重ねました。瀬戸内・龍郷両町への調査研修を含め、担当課への聞き取り等を勘案した結果、「開かれた議会」への取り組みとあわせて今年度中に完了する光ファイバー事業の効果を活用する観点からも来年度中の実施を念頭において、中継方法については、執行部と調整を行いながら積極的に推進することを決定いたしました。

決算審査特別委員会

総額で105億1,703万円

平成26年度 一般会計・特別会計決算を認定

平成二十七年第三回定例会は、九月七日から九月十七日までの十一日間の会期で開催しました。初日は、一般質問に三名の議員が登壇。執行部から提案された平成二十七年一般会計補正予算・特別会計補正予算及び条例二件、財産の無償貸付については、各常任委員会に付託しました。財政の健全化に関する法律に基づく財政健全化判断比率・資金不足比率について報告があり、平成二十六年喜界町一般会計及び特別会計の決算認定については、決算審査特別委員会に付託しました。最終本会議には、平成二十七年一般会計補正予算・特別会計補正予算及び条例、財産の無償貸付について可決し、決算審査特別委員会に付託された平成二十六年一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で認定すべきものと決定しました。追加提案された工事請負契約・変更契約については原案のとおり可決し、固定資産評価審査委員会委員の選任については全会一致で同意しました。

平成二十六年決算審査特別委員長報告

決算審査特別委員長
青山 春男

委員会は、本会議に提出された各会計歳入歳出決算書、主要施策の成果に関する調書及び監査意見書を参考に、九月九日と十日の二日間、執行部の出席を求め、詳細なる説明を聴取する中で、適正に予算が執行されているか、期待した行政効果が得られているか、更には、今後、改善を要する点は何かなどに主眼を置き、慎重に審査を行いました。

■一般会計

平成二十六年年度の一般会計歳入決算額は、六十九億五千九百二十五万四千

円で、予算現額に対する収入割合は八十八・九％です。

歳出決算額は六十八億五千三百六十六万二千円、予算現額に対する執行割合は八十七・五％です。

歳入歳出差引額は、一億五百五十九万二千円となりましたが、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、八千八百八十六万三千円です。

なお、このうち四千四百五十万円を地方自治法第二百三十三条の二の規定により財政調整基金に繰り入れていく。

【歳入関係の主な質疑、意見等について】

「地方交付税は八千万円の減額であるが今後の動向は」の質疑に対し、「年々減ってはいるが、二十七年決定額は少し増えている。地方創生を進める中で交付税関係も手当てされるであろうが、将来的には国の財政も厳しいことから今後も危機感を持って財政運営



総合グラウンド改修工事(トイレ棟新設ナイト照明改修等)
総額57,520千円



海底光ファイバー敷設工事
総額1,364,484千円

【歳出の主なもの、質疑、意見等について】
 今後の財政運営については、本町の主要な自主財源である町税等についても大きな伸びは期待できず、加えて、国の補助金・交付金等についても国の施策により状況が変わることも考えられ、決して楽観できるものではないと考えます。引き続き危機感を持って取り組んでいただきたい。

※「観光については、減少傾向であった入り込み客数が、奄振交付金事業の活用やバニラエアの就航に伴い、九百十二名の増となっております。今後も積極的に事業を活用し、広域事務組合、奄美群島観光物産協会、町観光物産協会と連携しながら継続的に取り組むこと」を要望する。

※「営農支援センター関係でブロッコリー、カボチャ、トウガラシの現状と今後の見通しについて」の質疑に対し



花良治おもてなしハウス
(集落活性化事業50万円)



花良治農村公園修繕工事
総額13,000千円

※「健康増進事業のゲートキーパーについて」の質疑に対しては「自殺防止うつ病に対する正しい対処の仕方等について研修会を実施している。本町は全国的にも多く、特に四十代五十代の男性が多い。原因が色々あるので、対応に苦慮している。」との説明でした。大変難しい事案ですが、関係機関で連



カラス捕獲小屋
佐手久・湾に設置(3,550千円)

て「既存の栽培者や新規参加者に対して講習会やヒアリングを実施し、面積を把握しながら第二地下ダムに向けて面積拡大に取り組んでいる。」との説明がありました。新たな作物が定着するように期待します。

※「カラス駆除のための有害鳥獣捕獲施設は農作物の被害軽減に役立ったか」の質疑に対しては「合計で三百三十羽程捕獲した。スイカ等に対する被害は減っていると認識しているが、現段階で直接的な効果がどの程度なのかは把握できない」との説明でした。検証を進め、更に効果的な対策を講じるよう要望する。

平成26年度各会計決算状況

(単位：千円)

会計別	歳入	歳出	差引残高	翌年へ繰り越すべき財源	実質収支額	
	収入済額	支出済額	(形式収支額)			
一般会計	6,959,254	6,853,662	105,592	16,729	88,863	
特別会計	国民健康保険	1,118,572	1,117,215	1,357		1,357
	直診勘定	11,954	11,954	0		0
	介護保険	898,592	896,081	2,511		2,511
	後期高齢者医療	95,048	93,534	1,514		1,514
	老人福祉施設	381,354	366,564	14,790		14,790
	屠畜場	1,592	1,592	0		0
	簡易水道	862,165	862,077	88	88	0
	農業集落排水	51,873	51,873	0		0
公共下水道	262,482	262,482	0		0	
合計	10,642,886	10,517,034	125,852	16,817	109,035	

携しながら継続的な取り組みをお願いする。

※「埋蔵文化財発掘事業で半田遺跡の今後の活用について」の質疑に対しては「有識者の提言を受けているが、国指定を待って、他団体の活用事例も踏

まえ、具体的に検討していく」との説明でした。歴史的にも貴重な資源である遺跡群について、有効な活用策を期待する。



荒木中央地区埋蔵発掘調査
支出額187,530千円/内賃金136,062千円



カ子ンテB遺跡外からの出土品

特別会計

国民健康保険特別会計決算

特別調整交付金の増額により昨年度より二千万円減額ですが、一般会計から三千六百五十万円の法定外繰入を行っております。退職被保険者制度の終

了による今後の歳入の方向性も未定である等国民健康保険を取り巻く厳しい状況は理解できませんが、国保加入者の相互扶助の精神で成り立つ国保運営のバランスを保つためにも、引き続き国保の動向を注視しながら国保税の収納率向上対策と、併せて特定健診の受診率向上等、医療費抑制に向けた取り組みを望む。

直営診療施設動定

七月から月一回、各月第四日曜日から四日間を基本として診療を再開し、延べ四百九十七名の診察を実施しています。今後も町民のニーズに応えた診療体制を維持し、町民の健康と安心を確保するよう望む。

介護保険特別会計

民間福祉事業所やケアマネジャー等専門職不足の中ですが、保険給付費が歳出決算額の九十二・三%を占めることから地域包括支援センターを中心にサービス調整を行い、限られた資源を有効に活用し、独居老人・老人世帯の見守りや今後増加が予想される認知症対策に努めていただきたい。

後期高齢者医療特別会計

ますます進む高齢化に伴い、医療費増大が見込まれ、今後の財政運営への影響が懸念されます。継続的な徴収にもかわらず、時効により不納欠損も生じています。各保険料についても厳しい状況ではあるが、引き続ききめ細かな徴収対策を望む。

老人福祉施設事業特別会計

職員数の基準は満たしているが、人的配置が足りない状況が続いている。臨時職員が多い状況で、役割に配慮の確保に苦労されているが、役割に応じて身分の保障も含めて待遇の改善を検討し、人的配置の充実を図る必要があります。十分なサービスが行き届いていのか今一度検証し、事業の内容等を含め、今後の方向性について早急な対応を望む。

屠畜場事業特別会計

建屋や資機材の老朽化が進んでいる状況ですが、施設の維持管理に必要な措置を講じながら、衛生管理と食肉処理の適正化に努めるようお願いする。

簡易水道事業特別会計

硬度低減という課題を克服しながら、将来にわたって安全な水を安定供給するために進めてきた統合事業の西部地区の事業完了が待たれる。今後も老朽管の更新、施設の維持・保守管理を徹底し、設備の延命化を図っていただき、給水停止措置等の未納者対策についても生活困窮者への行政的配慮を行いながらも公平性の観点から引き続き実施し、使用料についても健全運営を考慮し、検討を進めることを要望する。

農業集落排水事業特別会計

加入戸数については、全体的に低位に推移し、健全な運営加入戸数に至っていないのが現状です。施設の維持補修費も今後益々増加することが予想されるので、最適整備構想策定業務委託

調査の結果を踏まえ、日頃から徹底した施設の管理に努め、機械・設備の延命化を図りながら、健全運営に努めていただきたい。

公共下水道事業特別会計

平成十一年から実施された事業も二十六年度をもって完了しました。総事業費五十億円の事業効果を確立するためにも、引き続き加入促進及び施設の維持につきまして、最善の努力をお願いします。

最後に、潜在力を生かした自らによる地域づくりが求められている中で、安定的な行政サービスを維持しながらも創意工夫によって新たなものを生み出すことも必要となります。地方創生総合戦略の策定作業も大詰めを迎えているが、地域資源の積極的な活用などにより、経済性及び効率性、さらには将来負担の観点からも、真に必要な高い施策への投資の重点化を図るよう望む。



審査する決算審査特別委員会

平成27年度 一般会計予算は 4,417万6千円を追加して 60億4,301万円に

総務文教委員会



総務文教常任委員長
外内 千里 議員

■一般会計

【歳入の主なもの】

増額で総務費国庫補助金二百九十二万九千円は十月から開始される個人カード交付事業交付金。

財産貸付収入はN.T.Tより喜界町光ブロードバンド使用料六十八万八千円。

前年度繰越金として三千六百六十一万九千円。

雑入は二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金九百九十九万四千円。

減額の主なものは、派遣終了により職員等人員費で五百五十五万を減額する。

【歳出の主なもの】

総務費の一般管理費の事務備人料で二百二十万は障害者雇用二名分。

旅費はマイナンバー制度の研修等、需用費は本町で県町村長会が開催されるため。

文書広報費は広報車購入費で七十万円。

財産管理費は台風で被害があった庁舎

コミュニティの屋根の修理費で五百十七万。企画費の奄美空港誘客促進事業負担金百六十二万円は、バニラエアの地上支援機材(タラップ等)を大島本島の五市町村と喜界町で購入し貸し出すため。

二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金九百九十九万四千円は、バカスを燃料としたハウスの暖房試験を行うもので、民間委託し実証試験を行う。

電算管理費の委託料の二百四十五万八千円の増額は、十月より導入されるマイナンバー制度に対応するため。

喜界町光ブロードバンド管理費六十二万円は、歳入のブロードバンド使用料を海底光ファイバー等設備保険料と赤連、早町中継局の使用料にあてるもの。

ふるさと寄付金事業の九十一万三千円は、新たな事業でふるさと寄付金制度を充実させるもので、インターネットの「ふるさとチョイス」の活用予算や、事務備人料として四十四万円も計上してある。

地方改善施設整備事業四百万円を増額は、湾地区サバニ横と幸陽苑前の道路改良工事等で、設計単価の増額と、電柱移転工事の追加に伴う増額で事業の関係で今回は単独事業となっている。水産業振興費の四十五万九千円の増額は、小野津漁港防波堤の上の標識灯一其をLEDに変更するものと、グラウンドナイター設備の修理のため。

土木費の原材料百二十万円の増額は、坂嶺、西目間の道路の流水対策で、水路を取り付けのため。住宅管理費の百万円はシロアリ被害に伴う修繕料等、役務費シロアリ駆除手数料に二十四万三千円。

工事請負費の七十五万円の減額は元塩道教員住宅浄化槽接続を不都合により来年度に先送りするため。

防災関連施設建設費の二千九百二十二万六千円は、給食センター建設費一千二百五十万円を皆減し、新たに基本設計、実施設計、地質調査、用地購入等を予算化するもの。

文化財保護費の百八十八万六千円の増額の主なものは、埋蔵文化財センターの来訪者の増加と土曜日、日曜日の開館希望に対応するためにセキユリテイー対策や、土曜日、日曜日の開館をして下さる郷土研究会会員への備人料。保健体育総務費の六百二十一万八千円の増額は、国民文化祭の開催に合わせ体育館ドンチョウを修理するため。

【質疑の主なもの】

【質疑】 総務一般管理費の障害者雇用内容について

【答弁】 町の法定障害者雇用率の低下もあり、障害者二名、総務課に所属し、クリーンセンターや図書館業務に従事、その他庁内の軽微な作業や文書配達を予定している。

質疑 ふるさと寄付金事業・事務備人員・返礼品・ネットでの申し込み状況について。

答弁 ふるさとチョイスに加入することで増えることが期待でき、活用で申込みが増加すると思われる。お礼は二割から三割で本人が希望するものを準備している。パッション、マンガール、車エビ等をパンフレットにのせてPRしている。二十六年年度のネット申込みは五件である。

質疑 早町地区の住宅不足により、湾地区に住むことを余儀なくされている現状をふまえ、早町地区住宅の水洗化と新たな住宅建設はできないか。

答弁 現在老朽化した住宅の建て替え



審査する総務文教委員会

計画が進行中のため、対応は難しい。

喜界町個人情報保護条例の一部を改正する条例について

十月から施行されるマイナンバー制度の個人ナンバーの保護のため改正されるもの。

主な内容は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号をその内容に含む特定個人情報について、規制する必要があるため改正を行うもので、個人情報の利用の制限、提供の制限、開示の請求等の規定を定めるものです。

財産の無償貸付について

雇用の創出を目的とし、旧志戸桶小学校校舎の一部を、在宅で仕事ができる、オペレーター育成の施設として無償で貸し付けるもので、貸し出す相手は、奄美市名瀬の株式会社「南西テレワークセンター」です。

尚貸出期間は平成三十八年三月三十一日までで、幼稚園の運営には支障が無いように配慮することです。

質疑 相手が民間であるので、十年契約の終了後延長については区切りをつけ、以後有償とするのが望ましいのではないか。

答弁 事業の性質上利益が上がる可能性は少なく、また教育施設であったため、有償となれば起債償還の問題が有る。

産業福祉委員会



産業福祉常任委員長
安田 英次郎 議員

■一般会計

【歳入の主なものについて】

農業委員会
農業費県補助金四十七万円は、機構集積支援事業費補助金の交付決定による減額。

農業振興課

農林水産業費県委託金十六万二千元は、奄美群島移動規制害虫特別防除事業委託金で、アリモドキの分が十万七千円、カンキツクリーニング分が五万五千円増額。

住民課

衛生費国庫補助金九十三万一千円は、最終処分場施設整備支援事業交付金で事業費の減による減額。

総務費国庫補助金二百九十二万九千円は、個人番号カード交付事業補助金二百六十八万六千円と個人番号カード交付事務費補助金二十四万三千円増額。

保健福祉課

民生費県補助金十一万五千円は、地

域自殺対策強化事業補助金の増額。

【歳出について】

農業委員会

機構集積支援事業四十六万円は、交付決定による減額。

農業振興課

糖業振興費四十八万六千円は、サトウキビの浸透箱を佐手久集落に設置するための増額。

自然休養村管理センター運営費六十八万円は、自然休養村センター畳部屋とボイラー室のドアの修繕費等の増額。
農地費九十万円は、道路と側溝の修理費の増額。

住民課

交付金二百六十八万六千円は、通知カード・個人番号カード関連事務の委託に係る交付金の増額。

住民生活費百二十五万五千円は、坂嶺生活センター修繕費の増額。

塵芥処理費二千三百六十五万二千元の減額は、旅費七万七千円、修繕料百五十二万六千円、工事費二百三十五万円の増額と、最終処分場施設整備支援業務委託料の二千七百六十万五千円の減額です。

質疑 最終処分場の工事の予定は

答弁 計画では、平成三十一、二年の計画です。

質疑 場所は、決定したのか

【答弁】 塩道のところで環境影響調査をしている。

保健福祉課

民生費の繰入金百二十八万三千円減額は、国民健康保険特別会計繰入金を三百十五万二千円増額、介護保険特別会計繰出金を四百四十三万五千円減額する。

包括支援センター運営事業七十万円は、特定高齢者福祉用具購入扶助費の増額。これは介護保険特別会計から組み入れるもの。

放課後児童クラブ運営事業費八十五万二千円は、喜界児童クラブと早町児童クラブのトイレの改修の増額。

児童発達支援事業費五十七万八千円は、旧湾幼稚園のフェンス等を改修するための増額。

国民健康保険特別会計

歳入歳出にそれぞれ二千百万二千円を追加し歳入歳出予算の総額を十三億一千六百九十九万四千円とするものです。

【歳入について】

前期高齢者交付金一千五百六十五万円は、交付決定による増額。

一般会計繰入金三百十五万二千円は、法定外一般会計繰入金金の増額。

雑入八十四万五千円は、第三者納付金の増額です。

【歳出について】

一般被保険者療養給付費一千万円増

額は、対前年度比で百二十一・一五％増えているためです。

一般被保険者高額療養費一千万円増額は、対前年度比百六十六・六五％伸びているためです。

後期高齢者支援金一千九十三万四千円は、交付決定による減額。

介護保険特別会計

歳入歳出予算にそれぞれ七百七十八万六千円を減額し歳入歳出予算の総額を九億一千二百二十九万九千円にするものです。

【歳入について】

調整交付金三百三十一万一千円は、見込額による減額

地域支援事業交付金九十四万円は、交付金の仮決定による減額。

地域支援事業交付金四十一万九千円減額と地域支援事業交付金十一万七千円減額は、人事異動によるもので、それに伴い一般会計繰入金を三百八十九万九千円減額。

繰越金に百五十万九千円は、前年度繰越金の増額。

【歳出について】

介護認定調査費等百四十六万二千円は、認定調査員が三名から二名になったための減額。

賃金百九十一万九千円の増額は、事務備人料七十三万一千円、看護師備人料百十八万八千円です。

包括支援事業・任意事業費六十万円の減額は、特定高齢者福祉用具購入扶助が補助対象外になったため七十万円減額し一般会計へ組み替えて、成年後見制度利用支援扶助十万円を新たにもつけた。

老人福祉施設特別会計

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一千七百五十万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三億七千六百五十六万四千円とするものです。

【歳入について】

老人福祉施設事業基金二百七十一万三千円、繰越金を一千四百七十八万九千円増額。

【歳出について】

一般管理費一千七百五十万三千円増額は、人事異動に伴う給料等一千七百二十三万五千円増額と旅費十七万九千円、役務費二万円、負担金六万九千円の増額。

水環境課

歳入歳出予算にそれぞれ七百三十一万八千円を追加し歳入歳出予算の総額を二億五百三十二万二千円にするものです。

【歳入について】

一般会計繰入金を七百三十一万八千円増額し、総額一億六千四百五十四万六千円とする。

【歳出について】

一般管理費七百三十一万八千円は、消費税の増額。

喜界町手数料条例の一部を改正する条例

第一条は個人番号の通知カードが十月五日から交付されるのに合わせて「個人番号の通知カードの再交付、一件につき五百円」を追加するものです。第二条は、平成二十八年一月一日から個人番号カードが交付されるのに合わせて「個人番号カードの再交付、一件につき八百円」を追加するものです。個人番号カードが交付されることにより住民基本台帳カードは廃止されま

す。
附則として一条の規程は、平成二十七年十月五日から二条の規程は、平成二十八年一月一日から施行する。



審査する産業福祉委員会

町政のここが聞きたい

いっぱん質問

第3回定例会で3名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。
質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
生駒 弘 議員

質問
町民生活の安心・安全について

質問 「救急医療情報キット」
無料配布について。

答弁 町長

「救急医療情報キット」の配布については、記入内容が多くなることから、民生委員や福祉アドバイザー、協力員の協力が必要となると考えています。また、消防分署の意見も参考にし、関係各位と調整のうえ、検討させて頂きたい。

質問
高齢者元気度アップポイント事業について

質問 ① 加入者数について。

質問 ② 総ポイント数について。

質問 ③ 反響について。

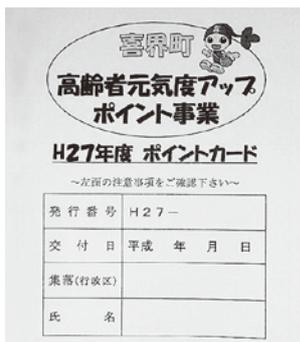
答弁 ①②③ 保健福祉課長

平成二十六年年度の元気度

アップポイント事業の加入者は、八百九十人。商品券の交換枚数は二千九百六十一枚、金額にして百四十八万五百円の支出となっております。

事業の成果としては、健康教室の参加者が増えたとの意見が聞かれる一方、以前からGB・GGをしている人には不要。健康づくり、介護予防を目的とした参加ではなく、ポイントをもらう為に来る人

がいるなどの意見があった。この事業は、現在、国・県の補助が約七十％弱（六十八・七五％）あります。その内五十％を県が基金を設置して補助しています。今後、基金がなくなれば、補助も終了すると予想される。この事業が終了しても、健康づくりや支え合い、助け合いの気持ちを大切にしたい町づくり、集落づく



元気度アップポイントカード

りを関係団体と協力のうへ、共に作り上げていくよう努力してまいります。

質問
反転授業について

質問 反転授業をどのように認識し考察されているか。

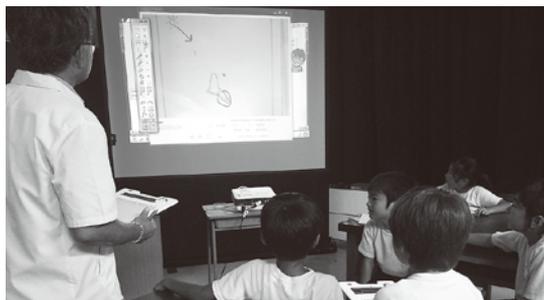
答弁 教育長

反転授業は次世代の授業方法で、十年後には反転授業が主流になるのではないかとされています。また、昨今、議論されている「アクティブ・ラーニング、自ら考え、論理的に表現し、課題解決に向けて、他者と協議しながら行う主体的な学びを中心とする授業」と同じ方向性にあると考えています。

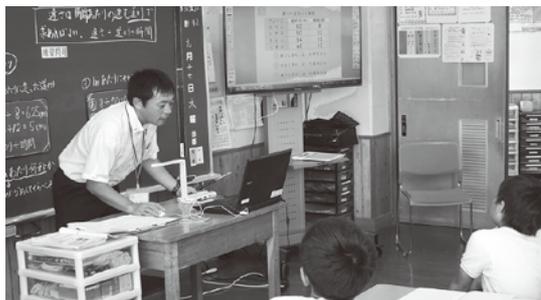
質問 反転授業などの導入により教育改革の進展を検討すべきではないか。

答弁 町長

現在、反転授業は実施されていませんが、各小・中学校へのICT機器の導入を進めてきています。各学級では電子黒板とパソコン・タブレット等を活用した授業が行われ、



電子黒板タブレットを使っでの授業(早町小)



電子黒板を使っでの授業(喜界小)

「楽しくて、よく分かる授業」を目指した授業改善と学力の向上に努めています。今すぐに全児童・生徒へのタブレット貸与と反転授業の本格的実施とはいかないが、反転授業

に関する情報の収集や研修等を進めながら、児童・生徒の学習意欲の喚起や家庭学習の充実に努めていきたい。



質問する
谷本 泰男 議員

質問 喜界空港ターミナルビル改修について

質問 ① 平成十八年度から十九年度にかけて喜界空港施設整備について色々な角度から検討がなされている。トイレの改修はなされたが、ターミナルビルの増改築はなされていない理由は

質問 ② 今後の見通しについて

答弁 ① 町長

喜界空港のターミナルビルは当初から大島本島で宿泊、交通など観光事業を総合的に展開している民間企業が担っておりまして、サービスマン、採算面から考えても民間主導

でやるのが大変望ましいと考えている。

答弁 ② 企画課長

現在の喜界空港ターミナルビルは、十九人乗りのドルニエ機が就航した昭和五十八年に建設されましたが、平成七年の三十六人乗りサブ機就航に伴い、夏場や年末年始には混雑し、特にトイレは手狭で老朽化が進み、利用者にとって不便を来していました。

平成十八年度には喜界町議会の特別委員会が、空港を管理する県や空港ビル設置者で

ある株式会社奄美航空へ待合所拡張とトイレ改修についての要望書を提出しています。その回答を受けて、町としては平成十九年に喜界空港ターミナルビル建設計画推進庁舎内委員会を立ち上げ、運営体制や財政負担、整備案等についての協議を重ねた結果、ターミナルビル整備については、費用を助成し、トイレを改修する案に固まった次第です。

今後の見通しについては、空港は町民や観光客が利用する島の玄関口であり、来訪者に喜界島を最初に印象づける施設でもあります。現在も夏場や年末年始には混雑しており、利便性の向上が望まれることは認識していますが、町長からもありましたとおり、民間の活力を最大限に生かすつつ活性化を図るためにも、従来から、民間でできることは民間で頑張っていたたくさんを基本に考えています。今後は設置者の意向も伺いながら検討を進めていきたいと考えています。



質問する
外内 千里 議員

質問 マイナンバー制度について

質問 本町でのマイナンバー制度の運用について伺う。

答弁 総務課長

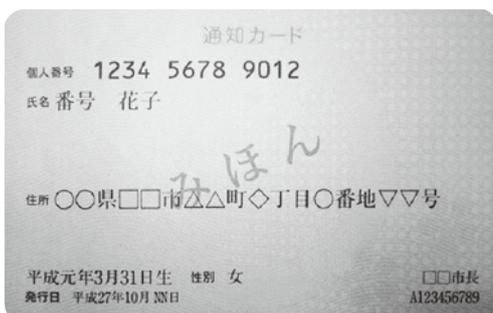
マイナンバー制度（個人番号）は公平な社会保障制度、税制の基盤となる制度で、同一人であることの確認を容易に行うことができる仕組みで、住民基本台帳に記録されているすべての人に対し、重複することなく個人番号が付与されます。制度の運用は、国の行政機関や地方公共団体などが、社会保障や税の分野など法律で定められた範囲（年金・雇用保険・医療保険の手続き・生活保護・児童手当やその他福祉給付金・確定申告等）で利用され、申告書等に個人番号を記載することになっている。また税や社会保険の手続きにおいて事業主から個人番号の提出を求められ場合があり、個人番号を記

載した通知カードが十月五日から各家庭に簡易書留で送られる。

質問 ① マイナンバー制度は町業務の事務の簡素化、税制での明確化、公平さなどの



個人カード



通知カード

良さがあると思うが、メリット、デメリットについて何う。

質問 2 セキュリティー対策をどの様にされているか。

答弁 1 2 総務課長

メリットとして、より正確な所得把握が可能となり、社会保障や税の給付と負担の公平性が図られる。

社会保障や税に係る行政事務の効率化や、個人番号を利用した情報の照会・提供の仕組みとして創設される「情報提供ネットワークシステム」を活用することにより、行政手続きを行う際の付帯書類が不要となるなどの負担軽減が図られる。

デメリットとして個人番号を使って個人情報不当に集積され、情報が漏洩した場合の被害が大きくなる懸念がありますが、国は罰則の強化など様々な方策を講じています。

質問 国は個人番号カードの、自治体の独自の利用を認めているが、町独自の活用について検討されているか。

答弁 総務課長

個人カードの取得は義務付

けられているものではないので、現在のところカードの独自利用は考えていない。

質問 今後の制度の運用と制度周知について。

答弁 総務課長

これまでに広報誌での啓発や職員向けの研修会を開催しており、十月の制度スタートに合わせて全戸に通知カードと個人番号カード申請に関するチラシを配布しています。商工会などでは税分野の事業所向け説明会を九月二十九日に予定しています。

質問

水難事故対策について

質問 1 本町は離島であるため水難事故に対して迅速に対応ができないのが現状であるが、今後の対策について見解を尋ねる。

質問 2 新聞報道で喜界分署に潜水隊創設についての紹介があったが、今後の計画について尋ねる。

答弁 1 2 町長

水難事故は海上保安庁の管



海上保安庁との合同訓練

轄ですが、本町では漁協の協力で船舶やダイバーを派遣していただき、消防と協力し救助活動をしているが、対応にどうしても遅れが出ています。少しでも素早い救助活動ができないか考え、喜界消防分署に潜水隊を、平成二十九年四月一日に設立予定としています。今後の計画は本年度から潜水士の試験を三名が受験し、来年度に四名が受験予定です。器具・装備は平成二十八年度予算で購入予定です。隊員の訓練は装備の配備後に指導を受けながら、年十回以上潜水訓練を行います。

意見書の審査結果

提出者	件名	審査結果
生駒 弘	ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書	採 択
生駒 弘	地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	採 択

公益に関わる意見書案が議員から提出され審議の結果、全会一致で可決され、関係行政庁に提出し、その実現を要請しました。

人 事



○固定資産評価審査委員会の選任
 固定資産評価審査委員会委員
 本田 郁夫氏

任期は
 平成27年9月25日から
 平成30年9月24日

諸般の報告



議長 中島 智一

※七月七日正・副議長研修会が霧島国際ホテルで開催されました。田之畑会長の挨拶の後、中村事務局長による「議長の権限」について講話がありました。自治制定前、昭和二十一年の戦後地方制度第一次改革までの説明、現在の二元代表制の説明、現在の議長の権限について説明がありました。

続いて「地方自治法第九十六条第二項の議決事件について」三原事務局次長の説明、「鹿児島県の当面する諸問題について」鹿児島県総務部市町村課長の講話がありました。

※七月二十三日鹿児島県教育庁高等教育課主催により平成二十八年公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会が大島支庁奄美会館で開催されました。

平成二十八年募集定員策定の結果に基づき、県全体の平成二十五～二十七年度の学区別入学者の状況、学校・学科別の状況、平成二十七年入学者の学力検査の状況、中学校卒業予定者の推移と学力検査の結果、卒業者の推移等を考慮した結果の報告がありました。

※七月三十日参議院議員会館において平成二十七年防衛省全国情報施設協議会が開催されました。会長挨拶の後、来賓挨拶に国会議員の細田博之氏他三名の挨拶がありました。「防衛省情報施設の整備状況」と題し航空幕僚幹部一等空佐鈴木氏による講演がありました。その後、議案一号～八号までの審査が行われ、平成二十六年度決算、二十七年年度予算について全会一致で採決されました。

議会のうごき（9月～11月）

- 9月2日 喜界町議会運営委員会
- 9月7日 平成二十七年第三回喜界町議会定例会（開会）
- 9月8日 各常任委員会（一般会計補正予算等審査）
- 9月9日 平成二十六年年度決算審査特別委員会
- 9月10日 平成二十六年年度決算審査特別委員会
- 9月17日 平成二十七年第三回喜界町議会定例会（閉会）
- 9月23日 東京喜界会（議長）
- 9月25日 喜界町長寿会交流研修会（議長）
- 10月1日 平成二十七年奄美・やんばる広域交流推進協議会（徳之島町）議長
- 10月27日 離島議長行政調査（対馬市）議長
- 10月27日～30日 所管事務調査（上勝町）産業福祉常任委員会
- 10月31日 第三十回国民文化祭・かごしま2015オープニング（奄美市）議長
- 11月6日 大島地区介護保険一部事務組合定例会（奄美市）安田議員
大島地区消防組合議会定例会（奄美市）外内議員
大島地区農業共済事務組合定例会（奄美市）谷本議員
- 11月10日 離島議長全国大会（東京）議長
- 11月11日 議長全国大会（東京）議長
- 11月16日～19日 所管事務調査（唐津市・多久市・糸島市）総務文教常任委員会

次回
定例会

次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前 9:30 皆様の傍聴をお待ちしています。

●お問い合わせ先 65-1115

「Uターンしての雑感」

吉塚 靖徳 (小野津)

私は、喜界高校を卒業と同時に上京し、都会での生活を過ごした後、定年を期に親の介護と併せ実家を継ぐべく四三年振りに生まれ育った喜界島にUターンして、今年で三年目となります。

現在まで私が帰島して以来、自分なりに感じていることを述べてみたい。

この島は、サンゴ礁と蒼い海原、蝶が飛び交う等、緑豊かな自然の素晴らしい「日本で最も美しい村」連合に認可されている島です

しかし、残念ながら畑の畦道や海岸等の裏通りには、ペットボトル、空き缶、ゴミ等が投げ捨てられているのが目につきます。素晴らしい島の美しい自然を守る為、島民一人ひとりが、島を愛する心がけを持って行くべきだと思います。

島の産業は、昔も今も農業が中心で、基幹作物はサトウキビ中心と変化はないものの、その方法等は全く違っており、多くは植え付けから刈り取りまでほとんどが機械化されていることが非常に驚きでした。

これは畑地総合対策での土地改良により区画整理がなされたことで機械化が可能となり、労力的大幅削減に繋がったものと理解できます。

近年は、サトウキビの単一作物だけでなく、畜産、白ゴマ、柑橘類、マンゴー、トマト、潤命草等々各農業従事者が行政の指導の下、それぞれ努力して収益アップに取り組んでいるのが現状のようです。

また農作業に従事している人達が、若い方よりも年

配者の方が多い様に思います。年配者の方を見ると昔働いていた同年代の方達より若く、元気かくしゃくとして働いていることに驚きを禁じ得ませんでした。

農業等の一次産業は大自然が相手であり、これからは自然災害等と上手く付き合って行かざるを得ないものと思います。

喜界島も多分にもれず、少子高齢化の過疎の島になっており、人口も私が島にいた頃の約半分と減少し、団塊の世代が間もなく七十歳を迎えるようになり、益々高齢化が進むと同時に少子化が進んでいく傾向にあるようです。少子化により私が島で過ごした学び舎も小学校、中学校とも廃校となり統廃合され淋しい限りです。今ある高校もその内分校になるのではないかと危惧しています。

これは時代の流れであり避けようのないことも知れませんが、町民、町議会、行政が一体となって、農業・産業等が盛んとなり若者が、子どもが喜んで生活できる活力のある島、高齢者等も明るく暮らして行ける、社会福祉等の充実した島を作る努力をしようではありませんか。

帰島以来「議会だより」を拝読しており、その内容で島民から選出された議員の皆様方の、島民の為によい良い生活、魅力ある島にしようと努力されていることが伺え、その働きに敬意を表しますとともに、是非とも生で町議会を傍聴したいと思っています。

今、島で生活している子ども達が将来、是非島で生活したい、働きたいと決意できるような魅力のある素晴らしい島にして行くことが、今の私達に与えられた任務ではないかと思っています。

頑張ろうではありませんか。

編集後記

今年、相次ぐ台風による農産物の被害があり、特に白ゴマは壊滅的な被害に遭う中で、明るい話題として白ゴマの買い取り価格が数年ぶりに二千円台の大台に乗り安堵しているところ

です。
白ゴマに次ぐ作物として、今行政が力を入れているかぼちゃ、ブロッコリー、唐辛子などで、島に帰郷した人たちが安心して作れる作物で六次産業化できないか模索しているところ

です。
本町も『まち・ひと・しごと創生本部』を設置しましたが、町民の協力なしでは果たせない重要課題と捉え、議会活動に取り組んで参ります。

- 文 貴 河上 弘仁
 議会広報委員会
 委員長 生駒 弘
 副委員長 峰山 恵喜光
 委員 外内 千里
 委員 榮 哲治
 委員 谷本 泰男
 委員 河上 弘仁